

2009.02.22 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2009年

<アラン・カページ著の「弟子の道」に沿って>

キリストの弟子となる②「イエスの弟子」

テキスト：

「イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」(マタイ 4:19)

前回は

- シナイ山における契約によって、イスラエルが神の民となったこと
- その意義（神の宝、祭司の王国、聖なる国民となったこと）
- その手段（神の權威に従うこと、交わりに生きること、信仰に生きること）

などを学んだ。このパターンは新約においても活かされている。

A. 弟子道の基礎：恵による贖い

1. 悔い改めと信仰：「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」(4:17)
2. 献身と成長：「私について来なさい。」(4:19 a)

B. 弟子道の目的

1. 神に仕える訓練：「あなたがたを人間をとる漁師にしてあげよう。」(4:19 b)
2. 品性における聖(5章の「垂訓」の精神)

C. 弟子道の手段

1. 權威の下に生きる＝「ついてくる」の真意は、キリストに服従すること。また、みことばの權威を認めること(5:17)。
2. 交わりの中に生きる：小さなグループでの家族的関係の中で育つ。時間的・靈的要素が必要

3. 信仰によって生きる：「悔い改めて・・・信じる」(マルコ 1：15)
4. イエスの個人的臨在の中に生きる：主イエスとの近い距離を保つ(生前も、昇天後も)

終わりに：

私達が主の弟子であることを自覚し、告白し、その訓練の道を歩もう。

<テーマソング> 「弟子となし給え」(新聖歌 404)

- ① 弟子となし給え わが主よわが主よ
弟子となし給え わが主よ
心の底より弟子となし給え わが主よ
- ② 愛を増し給え わが主よわが主よ
- ③ きよくなし給え わが主よわが主よ
- ④ 主をば倣いたし わが主よわが主よ